

# 経営比較分析表（令和5年度決算）

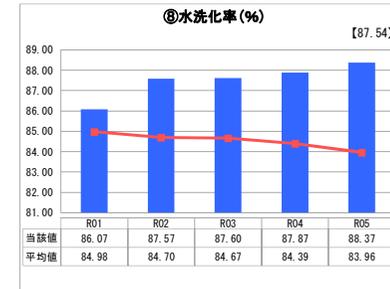
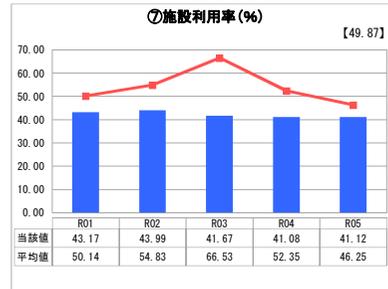
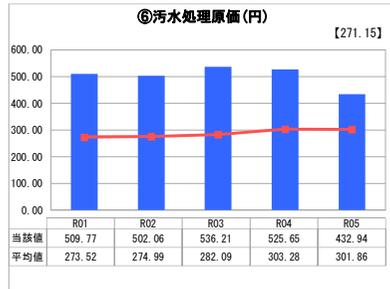
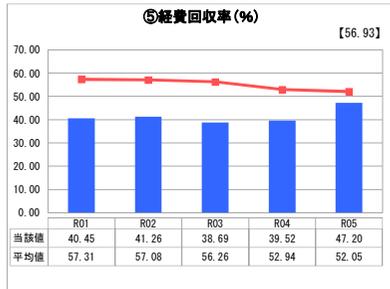
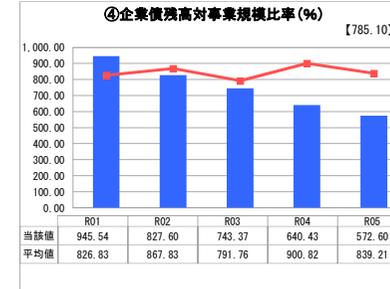
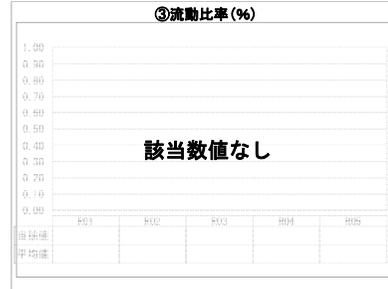
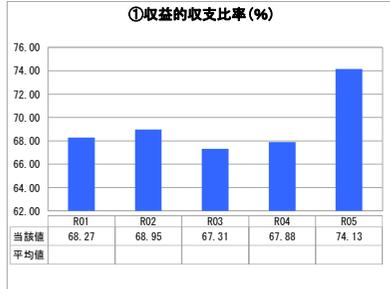
長崎県 長崎市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	1.09	89.26	3,300

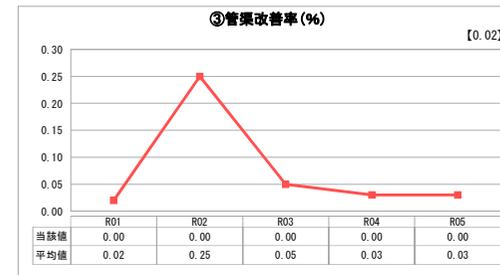
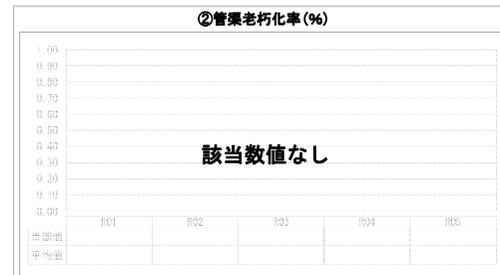
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
395,843	405.69	975.73
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
4,300	1.63	2,638.04

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和5年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

令和6年4月1日から地方公営企業法の規定の全部を適用し、令和6年3月31日をもって打ち切り決算を行ったことにより、未収金及び未払金を下水道事業会計に引き継いでいる。この特殊事情により、令和5年度の指標に影響が出ている。

「①収益的収支比率」は、収支が赤字であることから、60～70%台で推移しており、収支不足分については一般会計からの繰入金で補填されている。なお、令和5年度の指標が上昇しているのは、前述の特殊事情によるものである。

「④企業債残高対事業規模比率」については、企業債残高が減少していることから、前年度より減少している。

「⑤経費回収率」は、類似団体平均値を下回る30～40%台で推移している。これは、使用料が公共下水道と同水準とする一方で、小規模な処理施設が分散しているため、維持管理費に多額の費用を要しているためである。なお、令和5年度の指標が上昇しているのは、前述の特殊事情によるものである。

「⑥汚水処理原価」は、類似団体平均値を上回っており、一部施設を除き、公共下水道への統合を進めていくこととしている。

「⑦施設利用率」は、類似団体平均値を下回っており、一部施設を除き、公共下水道への統合を進めていくこととしている。

「⑧水洗化率」は、類似団体平均値を上回っているが、使用料収入の確保のためにも、引き続き水洗化勧奨を行うこととしている。

### 2. 老朽化の状況について

本市の農業集落排水施設は、平成9年度から平成18年度にかけて供用が開始された施設で、今後各施設の老朽化が進んでいく。

適切な維持管理及びその効率化に努めるとともに、公共下水道への統合を進め、事故の未然防止や維持管理費用の抑制を図っていく必要がある。

### 全体総括

人口減少により、使用料の増は見込めないことから、一部施設を除き、公共下水道へ統合していくこととしている。

また、令和6年4月1日から地方公営企業法の規定の全部を適用し、下水道事業との一体的な事業運営により、経営の効率化を図っている。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。